

WALL BARRIER SERIES



高耐候性ラジカルプロテクト改修システム

ウォールバリアシリーズ



建築塗料の総合メーカー



スズカツファイン株式会社



その家は ウォールバリア仕様

ホルムアルデヒド放散等級

F★★★★

内装仕上げの制限なし

ウォールバリアシリーズ

【上塗】

水系

- ラジカル制御形水性2液反応硬化形ふっ素・無機ハイブリッド塗料
JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

ウォールバリア水性F2

- ラジカル制御形水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂塗料
JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

ウォールバリア水性Si

- ラジカル制御形水性1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料
JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形2種相当品

ウォールバリア水性U

弱溶剤系

- ラジカル制御形弱溶剤2液反応硬化形ふっ素樹脂塗料
JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

ワイドウォールF

- ラジカル制御形弱溶剤1液反応硬化形NADふっ素樹脂塗料
JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

1液ワイドウォールF

- ラジカル制御形弱溶剤1液反応硬化形NADアクリルシリコン樹脂塗料
JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

1液ワイドウォールSi

- ラジカル制御形弱溶剤1液反応硬化形NADウレタン樹脂塗料
JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形2種相当品

1液ワイドウォールU

【下塗】 無機系サイディングボード改修用

- 水性1液エポキシ系改修用微弾性サーフェーサー

WBリメイクサーフEPO

- 弱溶剤2液エポキシ変性有機・無機ハイブリッド透明シーラー
(特殊コーティングサイディングボード用)

WBグリップシーラーEPO

【下地調整塗材】コンクリート・モルタル改修用

- 水性1液エポキシ系改修用弾性フィラー

WBリメイク弾性フィラーEPO

- JIS A6909建築用仕上塗材 可とう形改修塗材RE

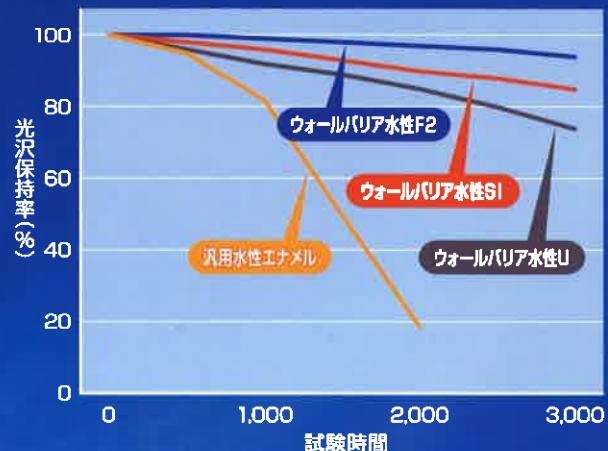
WBリメイク弾性フィラーRE

大切な家でずっと暮らしたいというシンプルな願い。
「家」を思い考え抜かれた機能。
美しい「家」をそのままの美しさで次の世代へ。
ウォールバリアは「変わらない」を追求しました。

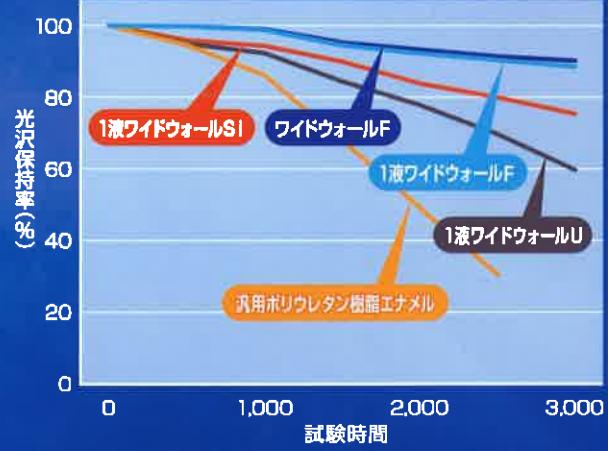
耐候性試験結果

促進耐候性試験(キセノンランプ法)

[水系]



[弱溶剤系]



仕上がり見本

窯業系サイディングボード塗替えイメージ



旧塗膜

WBリメーク
サーフEPO

ウォールバリア水性Si

コンクリート・モルタル塗替えイメージ《さざなみ模様仕上げ》

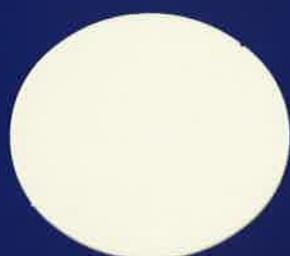


旧塗膜

WBリメーク
弾性フィラー EPO

ワイドウォールF

つや見本 [参考色:A204]



つや有り



7分つや



5分つや



3分つや

注)●仕上げ及びつや見本は、紙に塗装していますので、実際の仕上がりと、色・つや・模様が多少異なります。ご了承ください。

●上記のつや見本は参考です。つや調整品は色及び下地の状態によりつやの見え方が異なります。また、製品によっても多少異なります。

【共通色見本】



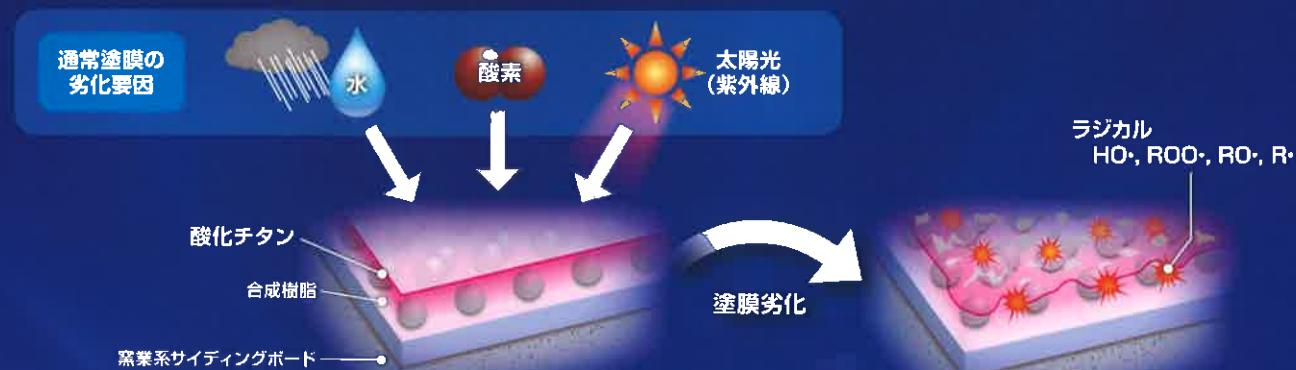
お願い

- 色見本は、紙に塗装していますので、実際の仕上がりと、色・つやが多少異なります。ご了承ください。
- 色によっては材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
- 広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色よりも多少明るく見える場合があります。

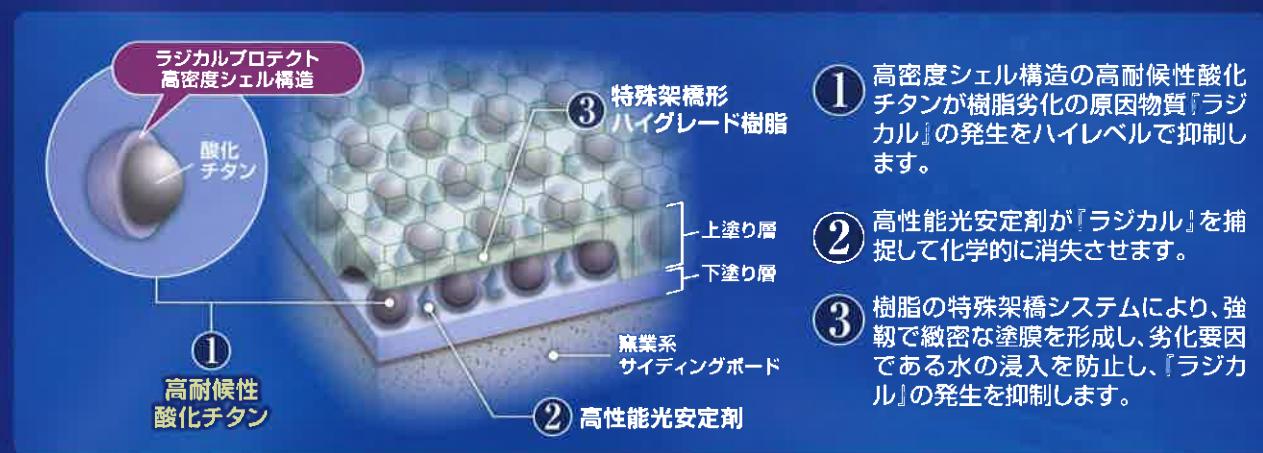


スーパー・プロテクト機能により耐候性能をグレードアップ

劣化のメカニズム



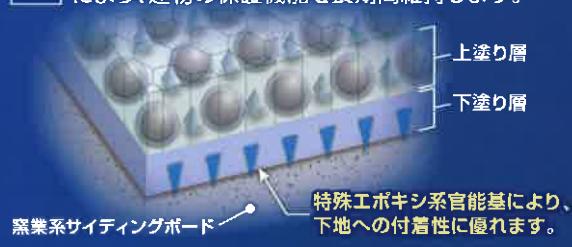
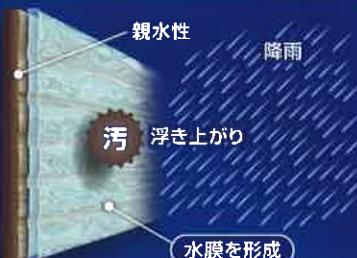
高耐候性の理由



低汚染のメカニズム



その他の特長

- 1** ウォールバリアシリーズ専用下塗りとの組み合わせにより、建物の保護機能を長期間維持します。

- 2** 透湿性能を有する塗膜は、下地の水分を水蒸気として放散し建物の保護機能を更に高めます。※1

- 3** つやのバリエーションが豊富にあり、建物にマッチした美しい仕上がりが得られます。
- 4** 環境に配慮した安全性に優れる独自のバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。

※1 水性上塗材が有する機能です。

塗装施工仕様書

塗業系サイディングボード・コンクリート・モルタル等

●下地調整

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法
1 下地調整	●既存塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー、皮スキなどを用いて除去する。 ●汚れ、しんあい及びチヨーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水压: 15MPa以上)で除去する。 ●水洗い面を乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 ●シーリング面は予めラフトン逆プライマーを塗装する。					

●塗業系サイディングボード

●下塗り

2 下塗り	WBリマークサーフEPO 清水	100 3~5	0.1~0.25	1	3時間以上	ウールローラー塗り エアレス塗り
-------	--------------------	------------	----------	---	-------	---------------------

※コンクリート・モルタル下地の改修にも使用可能です。

●下塗り [下地: 特殊コーティング(ふつ素・光触媒等)塗業系サイディングボード用]

2 下塗り	WBグリップシーラーEPO (無希釈)	100 0.08~0.18	1~2*	4時間以上 7日以内	ウールローラー塗り エアレス塗り
-------	------------------------	------------------	------	---------------	---------------------

※下地の吸い込みが著しい場合は2回塗りし、工程内での施工間隔は3時間以上

●コンクリート・モルタル等

●下塗り [ウールローラー仕上げ] 既存塗膜: リシン・吹付タイル等

2 下塗り	WBリマークサーフEPO 清水	100 5~10	0.3~0.5	1	5時間以上	ウールローラー塗り
-------	--------------------	-------------	---------	---	-------	-----------

●下塗り [さざなみ模様仕上げ] 既存塗膜: リシン・吹付タイル等

2 下塗り	WBリマークサーフEPO 清水	100 1~3	0.8~1.5	1	8時間以上	バターンローラー塗り
-------	--------------------	------------	---------	---	-------	------------

●上塗り [共通]

水系仕様

3 上塗り	ウォールペイント 水系	100 5~15	0.12~0.2	2	3時間以上 (最終養生) 24時間以上	ウールローラー塗り エアレス塗り
-------	----------------	-------------	----------	---	---------------------------	---------------------

弱溶剤仕様

3 上塗り	ワイドウォールシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.2	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	ウールローラー塗り エアレス塗り
-------	------------------------	-------------	----------	---	---------------------------	---------------------

※弱溶剤仕様は特殊コーティング塗業系サイディングボード以外で既存塗膜を活膜として存続できる場合は、下塗りを省略できます。

用途

建築物内外壁など

適用下地

塗業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALCパネル・スレート

■施工上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地の巣穴、クラック、不整、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- 気温5°C以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、施工を避けてください。
- 強度時や降雨、降雪のおそれのある場合は施工を避けてください。
- 吹付施工の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから施工してください。
- うずめぎは、たるみ、陥れいび不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- たれ、塗り残しながないように均一に施工してください。
- つや消褪品は、被塗物の形状、厚薄、色目、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合がありますので、ご了承ください。施工前に必ず試し塗りを行い、つや等の仕上がりを確認した上で、本施工を行ってください。
- ローラー塗装の場合、塗付むら、塗経ぎ、タッチアップなどにより、つやむらを生じやすい傾向にありますので、ご注意ください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。下地の形状や状態・施工方法・環境などによって増減することがあります。
- 各工程の間隔時間及び最終養生に所定の時間を厳守してください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないください。やむをえず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ボリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。)シリコン系及びブチル系シーリング材へは、連装を避けてください。
- シャッター・歩行部への使用は避けてください。
- 塗装面とプラスチックなど可塑剤を含むものとの接触する箇所には塗装しないでください。
- ペイント・シャングルジムなど人が乗るのも、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けください。
- 補修塗りは、使用的した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- この本帳に記載以外の下地や仕様で塗装される場合は塗装欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

注】①建物の構造、塗装部位(雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

②各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。

また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



スズカファイニ株式会社

営業本部 ☎ 510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 ☎ 510-0851 三重県四日市市塙浜町1

☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎ 0133-60-6311 東京支店 ☎ 03-5661-2211 名古屋支店 ☎ 052-411-1255
大阪支店 ☎ 072-862-1601 広島支店 ☎ 082-277-1116 四国支店 ☎ 0877-24-4621
九州支店 ☎ 092-938-0071



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

金属サイディングボード・一般鉄部など

●素地調整

既存塗膜: SOP、フタル酸樹脂・塩化ビニル樹脂・アクリル樹脂など

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨布、皮やすなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ●油脂類は溶剤ぶきで除去する。					

●下塗り

2 下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
-------	--------	-----	-----------	-----	-------	-----------------------------

●上塗り

3 上塗り	ワイドウォールシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
-------	------------------------	-------------	-----------	---	---------------------------	-----------------------------

※塗替え面にさびが発生していない場合には、下塗りを省略することができます。

商品体系

商品名	系統	容量	つや調節	色相	
上塗	水系	15kg セット(14.1) 3kg セット(2.8:0.2)	7分	白・黒・赤・赤さび色 オーカー色・黄色・紺 調色品 (淡彩色・中彩色・濃彩色)	
		15kg・3kg			
	弱溶剤	14kg セット(13.1) 2.8kg セット(2.6:0.2)	5分		
		15kg・3kg			

【塗業系サイディングボード用】

下塗	WBリマーク弹性フィラーEPO WBリマーク弹性フィラーRE※	水系	15kg	—	白
----	------------------------------------	----	------	---	---

※WBリマーク弹性フィラーRE: JIA A6909可とう形改修塗材RE

【金属サイディングボード・一般鉄部用】

下塗	エポマイルド	弱溶剤	16kg・4kg	—	赤さび色・グレー・黒 エクセルブラウン・白 セピアグリーン
----	--------	-----	----------	---	-------------------------------------

■取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に附れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
防護マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないよう注意してください。
もししごれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付いた場合には、直ちに多くの石けん水で洗い落とし、ぬままたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸氣・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗いでさけるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 吸扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密閉し、40°C以下での手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れるある場所など
- 捨てる時は、産業廃棄物として適切に処分してください。
- 溶剤系塗料を使用する際は、上記の注意事項に合せて下記の注意事項に注意してください。
- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有毒・刺激性中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸氣・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 吸扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 吸扱い中は皮膚に附れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
有毒ガス用防護マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 呑いは食料品・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出す時には、こぼれないように注意してください。
もししごれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には燃焼ガス消火器・泡消火器、または粉末消火器を用い初期消火をしてください。